

新年のご挨拶

商工会変革四年目 角田市商工会と広域連携好スタート

丸森町商工会会長 大槻 武雄



皆様明けましておめでとう
ございます。

平成十六年の新春を迎え皆
様にご挨拶申し上げます。

我が国の経済は、名目成長
率が六年連続してマイナスと
いう深刻なデフレ経済の渦中
にあり、とりわけ小規模企業
にとっては誠に厳しい状況が
続いており、憂慮すべき経済
環境があると認識をいたして
おるところであります。

かような経済環境下、平成
十五年度から角田市商工会と
の広域連携に組み好スタート
をきり、このような現状を
ふまえて商工会財政基盤の確
立と経営改善普及事業、地域
振興事業と管理費の再構築等
角田・丸森商工会広域連携等
研究会を組織して計画、承認、
実施、効果等協議を重ねて各

事業を展開しておるところで
あります。
平成十五年度を基準年度と
して消費税の課税売上高が一
千万円以上となり、新たな取
組みを年明け早々取り組むこ
とになりました。

又、広域連携の問題として、
委託事業の広域連携事業に取
り組む研究も始まりました。
商工会事業も社会経済の進

新年のご挨拶

行政と商工会との連携を密に

地域商工業の活性化を

丸森町町長 渡辺 政巳



新年明けましておめでとう
ございます。

皆様方には、清々しく新年
をお迎えのことと心よりお慶

展に伴い変化を要求されます。

平成十六年度も、魅力ある
商工会・地域にあってはなら
ない商工会を目指して、チェ
ンジ(商工会自身大きく変わ
ります)・チャレンジ(商工
会の自立に向けて挑戦しま
す)・キヤッチ(常に実践し、
確実に結びつけます)この標
榜を掲げて邁進致します。

平成十六年の新年にあたり
前述のチェンジ・チャレンジ・
キヤッチを目指して役職員一同
一丸となり頑張りますので尚
一層のご理解とご協力と関係
機関のご支援とご協力をお願い
して新年のご挨拶と致します。

内におきましても各処にその
影響が見られ、町民の皆様
には何かとご苦労の多い年
であったことと存じます。

このような中、貴商工会に
おかれましては、昨年三月に
角田市商工会との広域連携の
調印式を行い、変革と挑戦を
基本理念に、時代に対応でき
る商工会組織活動の創造を目
指し、四月より新たな体制を
スタートさせたことは誠に意
義深いことだと思います。

本町におきましても、昨年
二月に角田市との合併共同研
究会を設立し、町民の皆様
に合併の是非について判断し
ていただくため、調査・検討を
重ねている段階ですが、今後
とも、行政と商工会との連携
を密にしながら、地域商工業
並びに商店街の活性化に向け
積極的に諸施策を推進して参
りたいと存じますので、更なる
ご支援、ご協力を賜ります
ようお願い申し上げます。

結びに、新たな体制をス
タートさせた貴商工会の更なる
ご活躍に期待するとともに、
皆さまのご発展と会員の皆
様方のご健勝、ご多幸を心よ
り祈念申し上げます。年頭のご
挨拶といたします。

角田市商工会・丸森町商工会広域連携

暗中模索の中にも次第に進展

平成十五年四月一日から
スタートした商工会の広域
連携は、四月一日に仙台市
内の三商工会(泉・宮城・
秋保)がみやぎ仙台商工会
として、また加美郡四町の
商工会(中新田・小野田・
宮崎・色麻)が十月一日に
加美商工会として合併。残
る六十一商工会は二十五エ
リア体制で広域連携を実施
しており、その内十一エリ
アでは経理処理の一本化が
実施されている。
本会は、角田・丸森広域
連携協議会を立ち上げ、広
域連携による事業体制を
とっている。



商業部会による親睦グランドゴルフ大会
(H 15.10.23 於角田市民グランド)

- 角田・丸森広域連携は、
会員のための商工会として、
事務局会議を六回、広域連
携協議会を二回開催し、業
務の円滑なる推進を図るべ
く協議を重ねております。
主なる協議内容は、
 - (1) これからの商工会自主財
源確保
 - (2) 経理事務処理の幹事商工
会一本化
 - (3) 適正なる人員配置による
事務分掌の明確化
 - (4) 年末調整・消費税申告・決
算確定申告時の支援体制
化による担当の見直し
 - (5) 事務委託団体の等連携強
化による担当の見直し
 - (6) 部会活動の連携強化
 - (7) 青年部・女性部の共同事
業
- 今後、広域連携協議会
の中で、きめ細かに協議を
重ね、広域連携によるメ
リットを探りながら、効率
のある事務の簡素化を図っ
てまいります。

商店街活性化事業

町内いつでも どこでも 気軽に使える 「やまゆり商品券」大好評

使っていただくお店の雰囲気づくりを!

商店街の沈滞化、消費者
の町外流失防止策、また地
域の商業の活性化策として、
昨年七月二十日に「やまゆ
り商品券」を販売開始して
から早いもので一年半が経
過した。

「いつでも」「どこでも」
「手軽に使える」便利なギ

加盟店のみならず

やまゆり商品券は一枚からでも結構

使用済み商品券は早めに換金を!

消費者の方が「やまゆり商品券」を利用したら、でき
るだけ早めに組合事務局(商工会)へ持参していただき、
換金手続き処理を済まされるようお願いいたします。
換金手続きは「やまゆり商品券引換綴」に交換枚数と
商店のゴム印を押印し、また商品券の裏面の取扱店の欄
に商店のゴム印を押印の上、ご持参ください。指定銀行の
小切手で同額をお支払いします。土・日曜日・祝祭日以
外はいつでも交換します。

利用して頂いても、お店で
使って頂かなくては意味が
ない。平成十五年十一月末
現在で使われていない商品
券が一千万円にもなっ
ている。商品券を使える事
業所は町内の一六〇のお店
や食堂、理美容室など大半
の店で使うことができる。
是非とも、商品券を「気
軽に」「気楽に」使える店
となるよう工夫してみ
てはどうでしょうか。

やまゆり商品券利用状況
H14.7.20 ~ H15.11.30

	売上額	回収額
H14. 7. 20 ~ H15. 4. 30	18,961,500	10,567,000
H15. 5. 1 ~ H15. 11. 30	17,617,500	12,394,500
計	36,579,000	22,961,500
未使用額		13,617,500

謹賀新年

- 会長 大槻 武雄
- 副会長 佐々木 英雄
- 理事 岡崎 正男
- 白木 寛一
- 板橋 勇
- 鈴木 久一
- 秋葉 薫
- 大内 好晴
- 小野 孝信
- 中村 次男
- 斎藤 守雄
- 菅野 純一
- 菅野 八郎
- 半澤 智一
- 齋藤 宗一郎
- 高橋 宏幸
- 斎藤 千生子
- 古川 仁一
- 石田 博英



皆様の「健康」多幸をお祈りいたします。